

# 新盛里山耕流塾

# NEWS もりの里11月号

紅葉の季節になり、足助の中心部では香嵐渓の観光客で賑わいを見せています。里山でも畑では、ブロッコリーなどの秋冬野菜の収穫や干し柿などの保存食づくりなど冬支度に忙しい日々を送っています。一方で、森のほうに目を向けると、ヒラタケの収穫や間伐作業が始まり、ところどころでチェーンソーのエンジン音が聞こえてきます。

ご意見・ご感想はこちらへ  
足助支所地域振興担当 多和田、山田  
TEL: (0565)-62-0601  
E-mail: [asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp](mailto:asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp)

11/3 に森のデザイン講座、11/8 に旬裁食、11/14 & 15 に食と農のデザイン講座、11/21 にマイクロ水力発電講座、11/29 にもりの里 農業塾が開催されました！

## 里山デザイン

### 菅田和の森はどんな森？ の巻

11月3日は、「森のデザイン講座」の開耕式を行いました。



開耕式の後、菅田和の森の調査を行いました。調査方法の説明の後、3班に分かれて森の中に入って行きました。樹木の本数計測調査は、5メートル四方にどんな樹木があるかを調べました。植種調査は、小さな植物も調査対象になりました。

また、有機土壌の地質調査も行いました。

午後からは、扶桑館で調査結果をまとめるとともに、菅田和の森の植生を学びました。今回の調査のまとめは、次回の森のデザイン会議で活用します。



### ほっ、とひと息 ~写真集~



地質調査



樹木の本数計測調査



人工林調査班



人工林調査班

### 受講生の感想

森の中がすごい寒いと感じた。木の理想的な間隔というのがわからない。今日は、適正な森について、数字のことと実際の体験ができ、奥深いと思った。

森の調査は、初めて体験した。講師の植物の知識にびっくりした。もう少し山のことを勉強したい。今日は、適正に間伐することが必要だということを知った。

今までは農の視点だったが、今日は、山の視点で山を見られた。今まではこんなものかなと思っていたが、菅田和集落の森が過密だということが分かった。

# 旬裁食

いよいよ試食！！  
今年のお米の味は？ の巻

11月8日の「旬裁食」は、干し柿づくりと精米が行われました。

午前は、柿取り班、米の精米班、野菜の収穫班に分かれて作業を行いました。

柿取りは、高枝切りハサミや竹ざおを手に樹高10メートルの柿の木に向かいました。



高枝切りハサミでは届かない柿は、元気の良い受講生が、木に登って取っていましたが、落ちたりしないか、スタッフは、ハラハラドキドキでした。木に登られた方は、全員女性でした。

米の精米は、籾付きの状態で行いました。精米機の上に浮いてきた藁くずは手で取り除きました。精米したての新米は、かまどで炊き、おこげが少しできましたが、大変おいしくいただきました。



午後は、干し柿づくり行いました。収穫した柿の皮をむいた後は、すがいを作り、ヨリを掛けたところに挟み込んで吊りました。

お正月にはおいしい干し柿をいただくことができそうです。

## 受講生の感想

籾のついた米を初めて見た。また、落花生のなり方を初めて知った。(親)  
今日は、精米を担当した。籾は、精米すると量が半分になることが分かった。(親)  
今日は、干し柿の作り方を知ったので、渋柿があったら干し柿を作りたい。(親)  
いつも悪戦苦闘しているが、今日は、ゆっくりできた。今日作った干し柿を早く食べたい。(親)  
子どもと一緒に干し柿づくりを行ったが、とても良い体験ができた。新米の試食は、ご飯がおいしかった。(親)  
干し柿づくりは、柿の皮が上手に剥けた。(子)  
イトトンボの種類を知りたいと思った。ムラサキイモ掘りが楽しかった。(子)

ほっ、とひと息 ~写真集~

作業前



作業後



## 試食した旬の食材



味噌汁



白菜おかが和え



アピオス

## 里山デザイン

### 新しい農法を学ぶ の巻

11月14日は、岩澤信夫講演会が開催されました。

冬期湛水・不耕起移植栽培を实践されている岩澤信夫氏による講演会を開催しました。

前半は、岩澤信夫氏より冬期湛水・不耕起移植栽培とは、どのようなものか、わかりやすく説明していただきました。



後半は、岩澤信夫氏と名古屋大学環境学研究科高野雅夫准教授とのディスカッションが行われました。

高野先生より会場の参加者からの質問に対して、岩澤信夫氏にお答えいただくという内容で、参加者の理解を深めることができました。



### お窯の会 近況

11月29日、山遊びコース石窯づくりOBによる「おかまの会」が開催されました。

講座で製作した石窯を使って、それぞれ持ち寄った材料でピザやパンなどを焼いて食べながら、約半年ぶりの再会を楽しみました。



## 里山デザイン

### ふゆみずたんぼ現地見学 の巻

11月15日は、甘原ええのおでの現地見学会が開催されました。



冬期湛水・不耕起移植栽培を实践されている岐阜県多治見市の「甘原ええのお」で現地見学会を開催しました。

昨日の講演で学んだことを実際に現地の田で確認したり、实践されている山田照次さんに苦労話を聞くことで理解が深まりました。

### ほっ、とひと息 ~写真集~



専用田植え機



ふゆみずたんぼ

### 完売御礼！！無農薬・有機栽培の野菜と五平餅 の巻

10月31日&11月1日は、ふれあい祭りに参加しました。



足助交流館で開催されたふれあい祭りで模擬店を出店しました。

新盛里山耕流塾実行委員会で栽培した米を使った五平餅や野菜を販売しました。

予想以上に好評で、2日間で用意したものは、完売しました。

## 里山デザイン

### 発電量はどのくらい？ の巻

11月21日は、マイクロ水力発電機の能力テストを行いました。

午前は、「原子力利用をどう考えるか」ということについての講義を行い、原子力発電の実情について学びました。講義の後、試作したマイクロ水力発電機の能力テストを行いました。

2種類の発電機のデータを取りながら確認しました。



午後は、発電機のスクリーを交換してどの形状のスクリーの効率が良いのか確認しました。スクリーは、プロペラ式とラセン式とハイブリッド式の3種類あり、プロペラ式が最も効率が良い結果となりました。

### 受講生の感想

今回も電気という目に見えないものを実験という形で数値として体感し、実感できたことが良かったと思いました。特にハイブリッド式水車がどんな回転、電力になるのか興味があったので、生で見られて良かった。少しの水の流れでも、わずかではあるにしても、エネルギーを秘めているということに自然の偉大さを感じました。

フィールドでの調査は、かなり冷え込み、手足の冷えを十数年ぶりに味わった気がします。また、回転数を数えるのも小学生以来で懐かしさを覚えました。この活動を通じてわかることは、自然に溶け込めば寒さを体感し、昔を思い出すので、ある意味スローな生活の入り口なのかなあと感じました。

## もりの里☆市民農園

### もりの里 市民農園 田 今年のまとめ の巻

11月29日は、もりの里 市民農園・田の講座を行いました。

今回は、今年度最後の講座となるため、今年度の反省と来年度に向けての土づくりについて学びました。

ほとんどの方が、来年も引き続き米作りをしたいということでしたので、馬糞とバーク堆肥をほ場に入れることにしました。



### マイクロ水力発電機の種類

第1号機



第2号機



### ほっ、とひと息 ~写真集~

